## 自由民主党 さいたま市議会議員団 広報紙

## さいたまシティ

# City

### 令和3年 秋季特集号

■発行 自由民主党さいたま市議会議員団 さいたま市浦和区常盤 6-4-4 TEL 048-829-1810・FAX048-833-6665 ■発行責任者 都築 龍太

令和4年度の予算編成に対し、 「8分野・77項目」の要望、 政策提案・提言を致しました。

(左から) 新井 森夫 議員・都築 龍太 議員・清水 勇人 市長・玉井 哲夫 議員

#### ■都市経営・行財政改革

市民のための自治体であることを十二 分に理解したうえで行政運営に努め、 積極的に行財政改革に取り組むこと。



- ■総合評価方式や一般競争入札などあらゆる形態を駆使しながら市内業者
  - の育成を図り、合わせて年内公共工事の発注の平準化に 努めること。また、年度内工事の元所管への当該年度内 工事への再投資に努めること。
- ■市内企業への入札参加機会を多く図るため、工区や業種、 業務棟の分離発注方式の検討や一抜け方式の積極的な導 入を進めること。

#### 2都市基盤整備

市民が誇れる都市にすべく、133万人を擁する政令指定都市にふさわしい都市基盤を整備・構築すること。また、それぞれの地域の価値を高め、地域の独自色が生み出せる基盤整備に努めること。

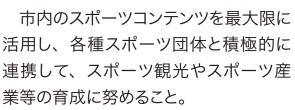


- ■賑わいと、文化・教育の調和する浦和のまちづくり整備において、浦和駅前再開発・市民会館うらわ跡地利用等を更に推進し、段階的に実施していくこと。また、岩槻駅周辺地区においては「さいたま城下町構想」を整備推進し、岩槻城址公園の史跡復元を実施すること。
- ■東日本エリアの拠点を目指して、大宮駅グランドセントラルステーション化構想などの都市基盤整備を着実に推進すること。
- ■さいたま市の特筆すべき資産経営資源の見沼田圃については、魅力的な都市自然空間の価値を段階的に具現化していくこと。
- ■遅々として進まない、地下鉄 7 号線の早期事業化を決断 すること。



#### 3経済活性化・スポーツ・産業振興

既存産業の強みを活かす成長戦略を 創出し、地域経済を活性化すること。





- ■地域商店街のイノベーション推進のために、商店街の活性 化には地域特性に配慮しつつユニークで新しい発想の支援 に取り組むこと。さらに、防犯カメラ設置への支援拡充、 電気料金の補助等、補助支援策を検討すること。また、キャッ シュレス決済端末の導入に対する支援策も検討すること。
- ■新型コロナウイルス感染症の経済的な影響を受けている商 店街事業者向けの更なる支援策等拡充を検討すること。
- ■市民ニーズを的確に捉えたスポーツ施設の積極的な整備 を行うこと。

#### 4 教育・子育て・生涯学習

文教都市さいたまの優位性を活かし、 さらなる教育文化都市を実現すべく市 民一人ひとりを大切にする"育む教育" に徹すること。



「子育てするなら、さいたま市」のブ ランドの確固たる地位を築くこと。

- ■コロナ禍の影響を踏まえながら、将来の保育士需要を十分に研究し、保育施設の運営法人への多様な形態の在り方を構築すること。
- ■保育士不足の抜本的な解決を目指すため、さまざまな方 策を検討すること。
- ■幼児教育の根幹を担う私立幼稚園、認定こども園に対し、 幼稚園教育のより一層の充実のための各種補助金の増額、 また安全対策事業等新たな補助制度を検討すること。
- ■放課後児童クラブなどの児童・生徒の保育支援をさらに充 実すること。

#### 5健康・福祉

これからの高齢社会にふさわしい新しい保健福祉行政の枠組みを構築し、人生 100 年時代のライフスタイルを提唱できる政策を検討すること。



- ■順天堂大学医学部附属順天堂医院の
  - 整備については埼玉県と連携をしながら、市内全体の地域医療体制をさらに拡充させること。また、従前から地域医療の核となっている中核病院の経営安定化に向けた取り組みを積極的に支援すること。
- ■高齢社会に対応していくため、「地域の福祉は地域で育てる」自立した地域福祉を目指し、ボランティアの財政支援 をはじめ、支援体制を構築すること。

#### 6市民生活・環境

政令指定都市にふさわしい生活や住 みやすい環境作りをさらに推進するこ と。



- ■各区の特色が活かせる事業を具体化 させ、投資的予算を拡充するなど区
  - 独自の予算増額を積極的に推進すること。また、窓口業務のみならず相談業務が区役所で完結できるよう、権限移譲や移管、本庁と区役所間の連携を強化し、スピーディーな対応ができる仕組みにすること。
- ■地域コミュニティの活性化、拡充のための助成金増額や、 自治会事務作業の軽減、見直しを検討すること。
- ■家庭から排出される古紙や古繊維などのいわゆる有価物の収集については市民生活に欠かせない業務であることから、収集運搬業務の委託形態を変更する際には慎重に検討すること。また、社会情勢を鑑み、予算の増額等、適正な措置を講じること。

#### **▽**まちづくり・市民協働

市民生活に不可欠な都市機能である交通政策や安全な道路に関連する設備をさらに推進すること。



■交通弱者地域の解消や、高齢者の 移動支援に対処するため、利用料

を軽減した外出ができるような仕組みづくりや、駅と家庭 とを繋ぐ新たな交通手段の創出をすること。

■コミュニティバスと乗合タクシーの目的や地域事情の違いに配慮すべきことから、社会情勢や都市構造の変化に応じて、近隣自治体との連携についても推進し、ガイドラインの見直しを実施すること。また、新たな収入源を確保できる委託業者の独自製を確保するなど、柔軟な運営施策を検討すること。

#### 8防災(災害に強いまちづくり)

災害に強いまちづくりには地域内での ネットワークの強化が重要であり、地域 の実態に即した防災体制の構築を具体 化すること。

と。



- ■地域防災体制を強化するための自主 防災組織率の向上を図り、自治会、消防団、自警消防団 等の連携強化を図る支援をおこなうこと。そのために協力 体制や分担を明確にして、地域防災体制を確率していくこ
- ■災害時、特に風水害の際、地域によっては避難場所に行く際に移動距離等の課題がある中、ガイドラインに沿った策定支援をおこなうこと。また、荒川流域の南区、桜区、西区においてはより一層の防災体制を構築すること。
- ■災害救助法の改正を受け、救助実施市の申請にあたり、 救助費用の財源確保のための災害救急基金の積み立てを 円滑に進めること。

77 項目より抜粋、詳細は HP をご覧ください。

### であいさつ

立冬を過ぎ、朝ごとに冷気が加わるこの頃、身も心も引き締まります。私たち自由民主党さいたま市議会議員団は、令和3年5月に議員一名が加わり、現在7名の会派として活動をしています。特に昨年から続いたコロナ禍の中、新型コロナウイルス感染症収束に向けた提案、影響を受けている社会的・経済的な事象に対する支援策の要望等に注力してまいりました。

さて、令和の時代を迎え、未来に向かって輝くさいたま市を実現するために、令和4年度の予算編成に対し「8分野・77項目」の要望、政策提案・提言を致しました。少子高齢化社会を迎える中、限られた資源の中で事業の優先度や緊急性を重視し、時代の

まちづくり委員会 文教委員会 市民生活委員会 市民生活委員会 新井森夫 萩原章弘 玉井哲夫 伊藤仕 まちづくり委員会 総合政策委員会 保健福祉委員会 桶本大輔 都築龍太 青羽健仁



変化に対応した高品質の都市経営が行えるよう、市民みなさまのご意見を活かし、今後も取り組んでまいります。自由民主党さいたま市議会議員団に対し変わらぬご支援、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

自由民主党さいたま市議会議員団 団長 都築 龍太

